

北アルプス 明神岳東稜

福永

【日時】 2012年5月4日(金)～5日(土)

【メンバー】L田邊、福永

GW後半は南紀の沢にとも思ったが一転、北アルプスに行ってきた。3日は二人とも仕事になり遅い時間に出発した。沢渡の広い駐車場の8割は埋まっていた北アルプスの人気を改めて感じさせられた。

5月4日(金) 晴れ

朝、上高地から明神へ。ここも観光地状態で、お喋りしていたら15分程度、徳沢方面に進み過ぎてしまった。養魚場脇から、20分もしないうちに雪がでてきたが先行者のトレースがばっちりです楽に進める。デブリが残る宮川谷をひたすらトラバースしながら、ひょうたん池に到着。重装備で疲れていたところに、今日はここで幕という田邊さんの言葉には嬉しかった。今冬はアイスクライミングのゲレンデ通いだったため、ほとんど歩いていなかった。もっと歩かないといけなかったと考えながら、テントを張るとすぐに雨が落ちてきた。



先に進んだ二人組は大丈夫かなと思いつつも睡魔に勝てず、快適なテントで睡眠不足を補った。夜中15センチ程、静かに雪が積もった。

5月5日(土) 晴れ

3:30起床、5:30出発。昨日見上げた黒い岩峰は真っ白になっていた。ひょうたん池にテントは3張。先行は4人組。そのトレースを辿るが傾斜がきつくなり、私はバテはじめた。第1階段と呼ばれる岩場で、3パーティーが順番待ちになり20分程度待った。僅かな隙間に確実に前爪を効かせて乗り込むよう田邊さんに念押しされ、ロープで確

保して貰いながら登る。すぐ上はハイマツのある灌木帯だか、傾斜があるのでそのままロープを引いて貰った。あとは高度感のある斜面をスノーバーを回収しながら一步一步登る。昨夜の降雪で深いステップが出来上がっていなかったらもっと恐かっただろう。スピードが落ちる私に渴をいれながら田邊さんは一定の歩みで確実に進む。ようやくラクダのコルに到着。2張分の幕営

跡があり休憩したかったが、あとから続々と登ってくるパーティーの存在がそれを許してくれない。まもなくバットレスと言われる岩場に着いた。2人組が登っているが苦労しているようだ。次に4人組がいて、私達はその後。20分程見ていたが、後からきたガイドパーティーが、何の躊躇もなく左からトラバースしているので、私達も巻いてしまった。



バケツ状態にはなっているものの、雪が腐り始めており緊張した。ピッケルと沢バイルでダブルアックスにして田邊さんの後を必死に追った。雪が切れると傾斜が緩くなり、山頂にはあっけなく着いた。山頂ではバットレスを登っていた2人組からトマの人でしようと話しかけられびっくりしたが、「スノーバーに大きく名前が書いてあるし、ミゾーのバイル使っているし沢の会の方だってわかりますよ」と言われてしまった。リードしていたのは福島の方で、「東北でトマは有名ですよ」と親しみをこめて言って貰えた。さてガスで眺望ゼロの山頂に長居は無用。前穂方面に進み奥明神沢経由で岳沢に下る。山頂直下の岩場の下りは恐怖だったが、途中で支点があり懸垂でコルまで降りられた。この交差点には岳沢から軽装で続々と登ってくる。自分達の重装備にギャップを感じながら尻セードで安全地帯まで降りた。岳沢ヒュッテでは生ビールを我慢して上高地に急いだ。

予備日があるから小梨平で打ち上げ。GWの余韻に酔いしれながら、初めての北アルプスの雪稜は大成功に終わった。田邊さん、ありがとうございました。

【行程】 5/4 上高地(7:20)～明神館(8:10/8:30)～ひょうたん池(11:40)

5/5 ひょうたん池(5:30)～バットレス基部(9:00/9:20)～明神岳山頂

(10:20/10:30)～奥明神沢のコル(11:40)～岳沢(12:40)～上高地(14:10)

【地図】 穂高岳